

若年性認知症 就労後押し



軽作業に取り組む若年性認知症の患者やボランティア
(守山市・藤本クリニック)

守山に県内初NPO発足へ

65歳未満で発症する若年性認知症の患者の就労支援に取り組むNPO「もの忘れカフェの仲間たち」が8月、守山市に発足する。家族への支援や啓発活動なども包括的に行う県内初のNPOで、創立記念講演会を11日午後1時から、大津市のピアザ淡海で開く。

NPOの母体は、守山市うと近隣企業に内職を求
梅田町で認知症外来やデイめ、2011年10月から週
サービスを行う藤本クリニック1回、クリニックの一室で、
ック。症状の進行で退職や ペット玩具の部品づくりな
休職した患者の「働き続け どの就労支援を始めた。現
たい」という要望に応えよ 在、50〜60代の患者10人に

家族に内職提供も

精神障害の男性2人も加わ
る。 ボランティアを募ってい

面ファスナーの仕分け作
業を発注する野洲市の繊維
染色加工業「伸和」の今井
貢社長(52)は「あくま
でも品質維持が大前提」
としながらも、「認知症
という運命に向き合う人
々の生きがいづくりにで
きる限り協力したい」と話
す。

より多くの受注確保など
活動を発展させるため、独
立したNPOを立ち上げ取
り組むことにした。同クリ
ニックに事務局を置き、介
護のためフルタイムで働け
ない家族への内職提供や、
障害者の就労支援事業との
連携、認知症についての研
修や講演活動を行う計画
だ。収入は患者や家族らに
100%還元し、会費など
で運営費を捻出する。年内
のNPO法人化を目指すし、

11日の記念講演会は、厚
生労働省の認知症・虐待防
止対策推進室の勝又浜子室
長や専門医を講師に招き、
若年性認知症への支援の在
り方を考える。申し込みは
2日まで。無料。
就労支援のボランティア
や講演会の問い合わせは同
クリニック8077(58
2)6032へ。
(芦田恭彦)